

令和6年度 社会福祉法人あぶくま福祉会

共同生活援助事業所グループホームスクラム事業報告

1. 概 要

日中就労又は就労継続支援等のサービス利用者に対し、地域生活を営む住居において、日常生活上の相談、介護等のサービスを提供し、日常生活全般において支援を行ってきた。また、利用者の人権を尊重し地域の中で生活していくための社会性の向上と自立性を高め、地域社会の一員として生活していけるよう支援することで地域福祉の向上の増進に努めてきた。今年度は、障害福祉サービス報酬改定により報酬体系の見直しを図った。

2. 利用者の状況（令和7年3月31日現在） 定員7名 実人員男性6名（前年度6名）

市町村	男
伊達市	3名
桑折町	1名
福島市	1名
本宮市	1名
合 計	6名

年 齢	男
20歳代	2名
30歳代	1名
40歳代	1名
50歳代	
60歳代	2名
合 計	6名
平均年齢	44.5歳

3. 稼働日数および利用人数

年間開設日数365日 延べ利用人数1,916人 1日平均利用者数5.2人
（前年度 年間開設日数366日 延べ利用人数1,900人 1日平均利用者数5.2人）

4. 職員の状況

管理者1名 サービス管理責任者1名 夜勤者4名（パート2名、シルバー2名）
生活支援員・世話人各8名（パート2名 シルバー6名）

5. 支援報告

（1）生活支援の実施状況

地域に根差した福祉サービスの向上に努め、利用者の個々のニーズに応じた支援と利用者の考えを重んじた支援にあたった。共同生活の中で築くルールを守り、利用者同士協調した生活を営むよう支援した。地域社会の一員であることを常に自覚し、地元の町内会に所属し、町内行事に参加し社会的自立を目指した支援を行った。

（2）健康及び安全対策

利用者の健康を守るため、日々の手洗いうがいの励行、給食支援におけるバランスの取れた献立編成で、衛生面と食育栄養の観点から健康管理を行った。有事の備え、火災、地震、水害の被害を想定し、毎月1回避難訓練を行った。各部屋に

懐中電灯や履物を配備、停電時に備えている。

(3) 感染症予防対策

感染予防に対する対策を委員会で検討、外部研修に参加して感染予防の知識の向上を図った。集団感染予防のため毎日の検温、手洗い、うがい、消毒、マスク着用を働きかけ、感染症予防に努めた。食堂に空気清浄機を設置、その他、衛生薬品・消耗品を購入し、利用者に提供し感染防止対策を行った。

(4) 施設管理

食堂テーブル、椅子を購入し利用者の快適な食事環境を整えた。

6. 職員研修

グループホーム職員として、また地域社会の一員としての自覚を持ち、地域福祉サービスの一翼を担う職員の意識を高めるため研修の機会を設けてきた。

(1) 人権擁護虐待・身体拘束防止研修

利用者の人権を守るため、当施設職員を対象に人権擁護研修会を実施し、利用者への虐待や身体拘束防止、人権を守る重要性を研修した。

(2) 各種福祉業務研修

職員の資質向上のため利用者への支援方法に関する内部研修を実施した。また、伊達市障害福祉課主催による「権利擁護研修会」、県運営適正化委員会主催による「苦情受付研修会」を受講した。

7. 地域連携

地域住民代表や有識者による地域連携会議で施設見学と運営状況の説明を行った。

8. 公益的取り組み状況

地域住民との積極的な交流を図るため、塩野川町内会に加入し、地域の清掃活動、町内会行事に参加した。

9. 令和6年度の主な行事

月	行 事
4 月	1 日誕生会
6 月	1 日誕生会 2 日塩野川町内会花壇植栽作業参加
7 月	1 日誕生会 3 0 日苦情受付担当者研修会参加
8 月	1 日誕生会
1 0 月	1 7 日感染症発生及びまん延防止研修会
1 1 月	2 1 日人権擁護虐待防止身体拘束防止研修会受講
1 2 月	8 日地域連携会議 2 5 日クリスマス食事会・誕生会
1 月	1 日お正月食事会 2 3 日精神障がい者権利擁護研修会
3 月	2 4 日人権擁護研修会
毎月	避難訓練（火災 8 回 地震 2 回 水害 2 回）
毎日	給食提供（朝食、夕食）、送迎車運行、部屋・浴室掃除、洗濯